



TITLE:

よくある質問と回答(FAQ) 第3回

AUTHOR(S):

CITATION:

よくある質問と回答(FAQ) 第3回. 静脩 2007, 43(3-4): 11-11

ISSUE DATE:

2007-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/39327>

RIGHT:

よくある質問と回答(FAQ)第3回

Q . 附属図書館3階の研究個室を、平日の17時以降と、土曜・休日開館時間帯でも利用できるようにしていただけないでしょうか

A . 現在、研究個室・共同研究室は1階カウンターで受付・鍵をお渡しして利用いただいています。これは「研究個室」は、袋小路になっている他に廊下からは死角となっているなど開放的でないことから安全面に不安を抱く向きもあるため、利用者や職員が少なくなる夜間や休日の利用時間帯を制限して16時45分までの運用とさせていただいております。

なお、附属図書館では3階について、「メディア・フロア」として整備・充実する計画を立てております。視聴覚資料の視聴のための「メディア・コモン」は学内予算を得て整備し平成16年5月に新装オープンし、情報端末室と共に閉館時間の30分前まで開室しています。残る研究個室・共同研究室・情報端末室についても、使いやすく、見通しが利き、明るいメディア・フロアとして改修するための予算要求中です。改修後は運用面の見直しも実現したいと考えております。



附属図書館3階

Q . 附属図書館の入館ゲートは、持ち出し防止と学外利用者入館制限の為だけなら、よく詰まるし不便きわまりないため無用ではないか。

A . 入退館ゲートは、学内者だけで日々3千人以上（試験期には5～6千人）の利用者が入館する附属図書館においては、利用者のスムーズな入退館を保障し快適な利用をサポートするためには省力化を図る上で不可欠な設備となっております。この方式は国内を問わず、利用者の多い大学図書館では共通の措置でもあります。かつては、バッグ、コート類の館内持ち込みは厳禁で、持ち込み資料も限定されていましたが、また持ち込めないこれらのものを預けるロッカーがどの図書館でもかなりのスペースを取っていました。更には退館時の無断持ち出し点検のために人手の確保も必要でした。このような効果を是非ご理解ください。

また入館ゲートを通過する際に集計される数値データ（個人を特定する情報は採取していません）は、利用者動向の分析等に利用しサービスの向上に役立てております。

なお学外者の利用については、入館ゲート通行に必要な学生証、職員証など本学の身分証明証を持たないため別途インフォメーションで受付ておりますが、自習室的な利用を除き蔵書の利用を中心に市民開放も積極的に行っておりますのでご理解ください。

Q . 各社の携帯電話から附属図書館のOPAC（オンライン蔵書検索）の利用を可能にして欲しい。

A . 平成19年2月1日から、図書館業務システムを順次更新しております。この中で、携帯電話用（NTTDoCoMo, au, Vodafone）OPACも4月からサービス開始予定です。

いましばらくお待ちください。